

作成年月日：2026年6月17日

## 研究協力をお願い

このたび以下の研究を実施いたします。よりよい医療のためご協力をお願い申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

### 【研究計画名】

成人期に発達障害評価を実施した患者の特徴・ニーズ・必要な治療/支援に関する研究

【研究責任者】 国立病院機構榊原病院 心理療法士 出口美奈子

### 【情報の利用目的及び利用方法】

大人になって初めて発達障害を心配し受診される、いわゆる“大人の発達障害”が増加しています。自閉スペクトラム症（以下 ASD）・注意欠如多動症（以下 ADHD）・限局性学習症（以下 SLD）のいわゆる“発達障害”は、これまで主に小児科もしくは児童精神科で対応され、子どもの発達障害についての知見はいろいろと積み重ねられてきました。しかし大人の発達障害についての研究はまだ少ないのが現状です。子どもの発達障害の患者さんと大人の発達障害の患者さんは、特徴やニーズをはじめ様々な違いがあり、子どもの知見をそのまま使う事はできないと言われていています。そこで本研究では大人の発達障害の特徴やニーズについて調べ、必要な治療/支援について検討する事を目的としています。

### 【対象となる方】

2024年4月以降に当院で発達障害の評価（診察・検査）を受けられた18歳以上の方。

### 【利用する情報の項目】

性別、年代、受診経路、精神科治療歴、主訴、診断、転帰、服薬状況、治療内容、就労状況、心理検査結果、教育歴、学校時代の適応・成績・対人関係、発達障害と診断された場合に希望する福祉サービス、ご自身で発達障害と思うかとその理由、受診タイミングの理由について、量的に分析します。

【利用する者の範囲】 情報管理責任者のみ

【情報管理責任者】 出口美奈子

【問い合わせ窓口】 榊原病院 心理療法室 出口美奈子

TEL：059（252）0211 平日 8：30～17：15